

第1回 学校評価の結果について—保護者・教職員—

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、学校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、第1回学校評価の結果についてお知らせいたします。結果をもとにして、課題を明らかにして、学校運営の改善を行っていききたいと思います。今後も、職員が一丸となって子どもたちの成長のために力を尽くしていきますので、引き続き、保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(評価について)

・数値については、回答の「とてもあてはまる」「ややあてはまる」を含めた数値です。4点が満点とし、肯定的な評価は3.4（85％）を基準にしています。（小数点第2位四捨五入）

1 子どもたちに関する内容

項 目	保護者
子どもたちは、学校に行くことが楽しそうです。	3.8
子どもたちは、挨拶がしっかりできています。	3.2
子どもたちは、宿題など家庭学習の習慣が身についています。	3.2

(考察)

・子どもたちに関する内容については、おおむね肯定的な評価でした。特に「子どもは学校へ行くことが楽しそう」については3.8と高い肯定率でした。児童アンケート「毎日学校に来ることが楽しいです」も3.7と高い肯定率を示しています。今後は、さらに児童の学校生活が充実したものになるよう教育活動を工夫改善していきます。挨拶については、職員が率先して挨拶することで、児童同士が元気に挨拶を交わせるようにしていきたいと考えます。家庭学習については、各学年及び個々の実態に応じた学習内容・方法を指導し、さらに充実できるようにご家庭と連携しながら進めていきます。

2 学習に関する内容

項 目	保護者	教職員
教師は、教材・教具をよく活用し、児童の興味・関心を大切にした「わかる授業」の工夫に努めています。	3.9	3.9
授業では、学習ルールが守られた雰囲気の中で、子どもたち一人一人が自ら進んで学習しようとする態度が養われてきています。	3.5	3.5
学校では、子どもたちが自ら進んで行動できるように行事や係活動等の工夫・支援をしています。	3.4	3.5

(考察)

・学習指導については、おおむね肯定的な結果でした。今後は、タブレット端末等のICT機器を活用し、児童が主体的に学びに取り組むよう、興味・関心を高める工夫や、個に応じた指導にさらに努めていきます。

3 生徒指導に関する内容

項 目	保護者	教職員
問題行動（いじめなど）の早期発見に努め、問題があれば解決に向けて学校全体で取り組もうとする姿勢がみられます。	3.5	3.5
学校生活の中で、支援が必要な子どもがいれば、その子どもへの理解を深め、問題に対して誠意を持っ的確な対応をしようとしています。	3.6	3.4
学校では、児童が社会の一員として身につけるべき内容を適切に指導しています。	3.5	3.2

（考察）

・生徒指導や児童の支援については、おおむね肯定的な結果でした。全職員で全校児童個々の様子をきめ細かく捉え共有し、教職員と児童の良好な関係を築くと同時に、保護者の皆様と教職員がさらに連携していくことで、児童の健やかな成長につなげていきたいと考えています。そのため今後も、定期的な教育相談の実施、相談窓口・相談箱の周知、スクールカウンセラーとの面談を行っていきます。

4 健康・体力向上に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校では、子どもたちが健康で規則正しい生活習慣が身につくように、家庭と連携をとりながら指導を行っています。	3.6	3.5
学校は、子どもたちが運動に親しむ資質やバランスのよい体力を養うために、教育活動の中で計画的に実践しています。	3.5	3.4
学校では、児童の健康な体作りを目指し、家庭と連携しながら「食育」に計画的に取り組んでいます。	3.6	3.4

（考察）

・保護者の皆様のご協力で、児童の健康な生活習慣が身についてきていることにより、良好な結果になっています。昨年度も良好な結果が出ており、これは興津小の子どもたちの素晴らしい点だと考えます。昼休み等においては、教職員とともに、楽しく元気に運動に取り組む児童が度々見られます。今後は、体育の授業や業間体育等で運動量の確保をしながら、健康維持及び体力向上に向けて取り組むと同時に、「食育」の視点も踏まえ、児童の健康な体作りを目指していきます。

5 安全に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校では、校舎内外の施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境づくりを心がけています。	3.4	3.5
学校は、各種避難訓練や交通安全指導を通して、安全で安心な学校生活ができるように計画的に指導しています。	3.6	3.3

（考察）

・安全面について、校舎内外の施設においては、日常的及び定期的な安全点検を行い、整備・修繕を行っております。また、職員による交通指導、通学路点検を実施し、児童の登下校時の安全確保に努めています。「安全で安心な学校生活」の項目における教職員の3.3という結果は、近年の自然災害等を含めた様々な事象を考慮し、児童が「自分の命は自分で守る」ための力を育成するためには、あらゆる状況を想定した各種避難訓練が必要であると考え教職員の意識が現れていると考えられます。今後も、効果的な訓練の実施及び啓発活動等を行い、児童の安全への意識を高めていきます。

6 家庭・地域・学校の連携に関する内容

項 目	保護者	教職員
学校の教育方針や教育目標・指導の重点は、家庭に分かりやすく伝わっています。	3.4	3.1
学校では、保護者や地域の方の「願いや信頼」に応えようと努力しています。	3.8	3.7
学校は、保護者からの問い合わせや来校者に対して、迅速・適切に対応しています。	3.5	3.5
学習内容や授業の様子について、各種便り・連絡帳・授業参観・ホームページ等を通してよく知ることができています。	3.5	3.7
学校は、地域の人材や教材を教育活動に有効に取り入れています。	3.4	3.2
個人面談・各種便り・メール・連絡帳・電話連絡などを通して、学校と家庭や地域との意思の疎通が図られています。	3.5	3.5

（考察）

・家庭、地域、学校の連携については、おおむね肯定的な結果が得られました。一方で、教職員には、地域の人材及び教材を、より効果的に教育活動に取り入れるにはどうしたらよいかという課題意識もあります。保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、児童の学びを豊かなものにしていきたいと思えます。

保護者・地域の皆様のご支援ご協力のおかげで本校の教育活動が充実し、児童の成長につながっています。今後も、学校の教育方針、教育活動、児童の成長の様子等をお伝えする方法や機会を工夫し、情報発信を行い、連携を深めていけるように努めていきます。

【学校関係者評価委員会で話し合われた内容】

- ・児童と学校職員のコミュニケーションがよく取れている。
- ・他人の痛みがわかる児童を育成してほしい。
- ・小規模校のよさを生かし、工夫しながら教育活動を展開している様子が見られる。
- ・（児童アンケートから）児童が学校に行くことが楽しいということが1番よかった。
- ・（児童アンケートから）教職員のサポートが行き届いていることが伝わってくる。複式学級でも教室を分け授業を行うなど、細かく配慮してくれることはありがたいが、その分職員の負担が大きいのではないか。
- ・校舎の老朽化も進み、教職員が子どもだけでなく、施設・設備の整備も担わなくてはならない状況が心配である。施設・設備面のサポートのための人材確保を市に働きかけていきたい。
- ・（課題意識をもって取り組んでいるため）職員の自己評価が低い、そんなことはない伝えてほしい。
- ・教職員が悩みながら取り組んでいることがわかる。ありがたい。今後ともよろしくお願いします。